

H.21.第1回大崎上島町地域協議会理事会議事録メモ

日時：平成21年10月26日 19時～20時30分

場所：大崎上島町開発センター 第1研修室

出席者：大崎上島町地域協議会理事及び事務局（17名、欠4名、事務局2名）

- 1 会長開会挨拶
- 2 会議成立 構成員の過半数の出席あり成立
- 3 議長選任 松浦真英氏

5 議案

① 21年度事業進捗状況報告

資料に基づき、ホーランエンヤ、平成21年度総会、育成者講習会開催、地域交流会（高野小）開催、権伝馬練習協力、中学生権伝馬体験学習開催、地元歴史教材等展示会視察、地域子ども会権伝馬体験会開催、ふるさと活性化研修会参加、地産品広島販売調査等事業実施を事務局より説明。
*権伝馬乗船体験は、頭では考えていたが水主全員が気持ちを一つにしないと効果が出ないことがわかり、短い距離では有ったが良い体験をした。

*参加者全てが熱中できて、やみつきになりそうな気持ちが理解できた。

② 事業運営資金経過報告

理事会当日現在で個人29名、1団体2口計31口の協力があったことを報告し、この資金は運営資金のみに使用し事業の拡大には活用し無い旨報告した。

③ 事業内容の検討

この事業が自立継続するためには、事業企画が必要であり、収益による資金が必要なため、事務局として滞在型体験交流事業企画（案）を提示した。

*ボランティアでなくマネジメントが必要、コミュニティー・ビジネスで収益をあげる。

*空き校舎等の活用については、行政とタイアップ、利活用計画－現在検討委員会で議論中とのことであるが、事前に利活用を決め空いた時点で活用すべき、対応が遅い。（東野中、西野小解体、木江中検討中）箱物に金をかけないためには空き校舎の活用が必至。

*大権の練習や権の作成を予定しているが実現可能かとの質問に対し、島の匠活用を提唱した。

*空き校舎の活用は時間が掛かるので、民宿、旅館の収容人員等把握する。

*事業を実施する場合対応する人員配置及び費用も必要ではないか、ボランティアでは長続きは望めないし、企画した個々の事業の対価計算をして経費を明確にする。

*既存の事業との連携、各団体の役割分担を明らかにし、地域協議会がつなぎ役になる。

*地域交流、修学旅行を視野に入れて事業計画を絞って実現可能にするために意見を求めた。

ふるさと資料館に残したい民具・技術等の収集及び島に関係有る歴史写真の収集を依頼した。

現在周防大島において展示中の宮本常一先生の写真展を企画者の森本孝氏が大崎上島町地域協議会に貸してもよいとの連絡があったので開催する方向で準備をする。

6 会長閉会挨拶